

## 計画的な捕獲の事例Ⅰ — 安定個体群の個体数管理 —

合同会社 東北野生動物保護管理センター  
宇野 壮 春

## 安定個体群とは？

- 定義が非常に難しい
- 実際は統計学の世界？



- ☑ 増加傾向にないのでは？
- ☑ 逆に減少傾向にもない？
- ☑ ある一定の規模を保ち、天災などにも耐える？
- ☑ 開放的な個体群？

・・・等の疑問も

## 安定個体群とは？

### 安定個体群を定義

連続する群れ数とその合計個体数が多く、  
計画的な捕獲圧をかけても、当面の絶滅の  
リスクが少ないと推測できる個体群。

## スライドの構成

### 安定個体群の規模

- 点ではなく面で考える
- 行政区を越えた、情報交換



### 個体群管理の理想と現実

- 追い払い、防除、そして捕獲
- 分裂、被害地の拡大



### どのように管理すべきか？

- 計画の策定と実行力
- モニタリングの必要性



## スライドの構成

### 安定個体群の規模

- 点ではなく面で考える
- 行政区を越えた、情報交換



### 個体群管理の理想と現実

- 追い払い、防除、そして捕獲
- 分裂、被害地の拡大

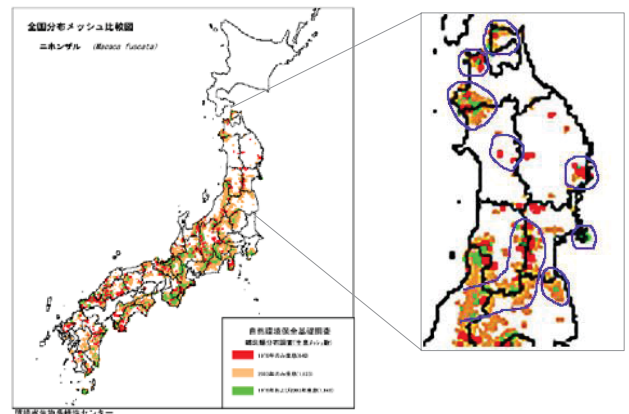


### どのように管理すべきか？

- 計画の策定と実行力
- モニタリングの必要性



## 安定個体群の規模



## 安定個体群の規模



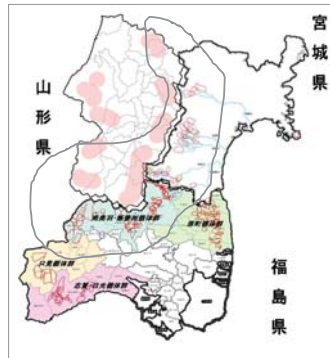
**下北個体群**  
生息地：下北半島  
群れ数：約 66 群  
総頭数：約 2000 頭  
(青森県より提供)

## 安定個体群の規模



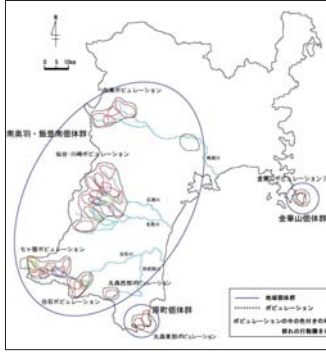
**南奥羽飯豊南個体群**  
生息地：宮城県西部  
群れ数：約 40 群  
総頭数：約 2600 頭  
(宮城県より提供)

## 安定個体群の規模



**南奥羽飯豊南個体群**  
**(4県に跨る大きな個体群)**  
【参考】  
宮城県：48群2,960頭  
(宮城県,2014)  
福島県：130群7,363~7,673頭  
(福島県,2013)  
山形県：86群不明 (環境省,2011)

## 安定個体群の管理単位



安定個体群の単位	上段:管理体制
	下段:群れ数
南奥羽・飯豊南個体群	国レベル 推定100群
宮城県	県レベル 推定30群
ポピュレーション	隣接市町 10~20群
市町	単独市町 10群

## 個体群管理の理想と現実

### 安定個体群の規模

- 点ではなく面で考える
- 行政区を越えた、情報交換



### 個体群管理の理想と現実

- 追い払い、防除、そして捕獲
- 分裂、被害地の拡大

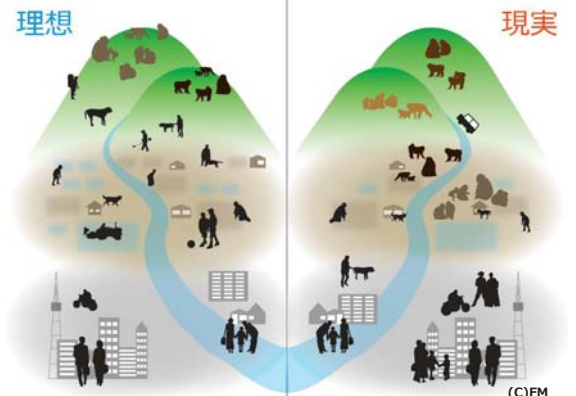


### どのように管理すべきか？

- 計画の策定と実行力
- モニタリングの必要性



## 個体群管理の理想と現実



## どのように管理すべきか？

合同会社 東北野生動物保護管理センター

### 安定個体群の規模

- 点ではなく面で考える
- 行政区を越えた、情報交換



### 個体群管理の理想と現実

- 追い払い、防除、そして捕獲
- 分裂、被害地の拡大



### どのように管理すべきか？

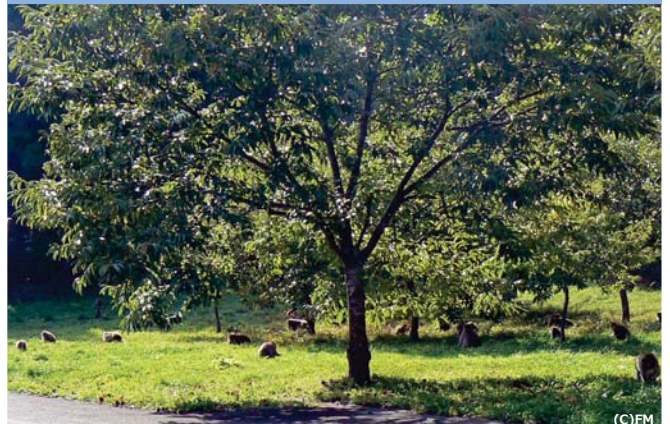
- 計画の策定と実行力
- モニタリングの必要性



(C)FM

## どのように管理すべきか？

合同会社 東北野生動物保護管理センター

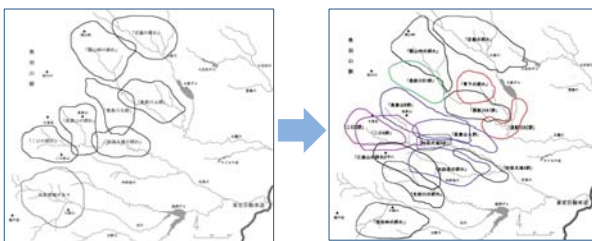


(C)FM

## どのように管理すべきか？

合同会社 東北野生動物保護管理センター

### 仙台・川崎ポピュレーション（加害群+自然群）



1998年は8群(340+α頭)

2013年は16群(614頭)

15年ほどで倍(複利)

## どのように管理すべきか？

合同会社 東北野生動物保護管理センター

### 仙台・川崎ポピュレーション（加害群+自然群）



## どのように管理すべきか？

合同会社 東北野生動物保護管理センター

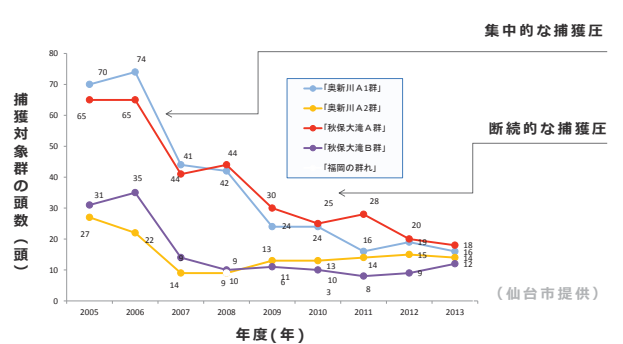
### 仙台・川崎ポピュレーション（加害群+自然群）



## どのように管理すべきか？

合同会社 東北野生動物保護管理センター

### 仙台・川崎ポピュレーション（加害群4群+α）

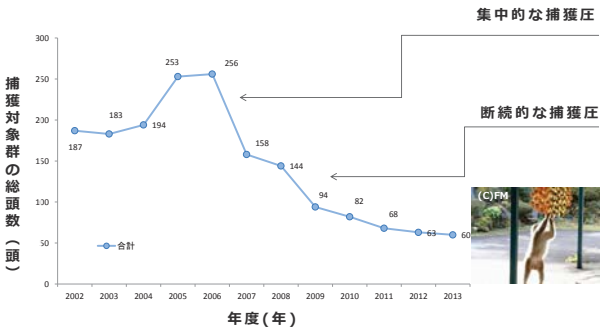


(仙台市提供)

## どのように管理すべきか？

合同会社 東北野生動物保護管理センター

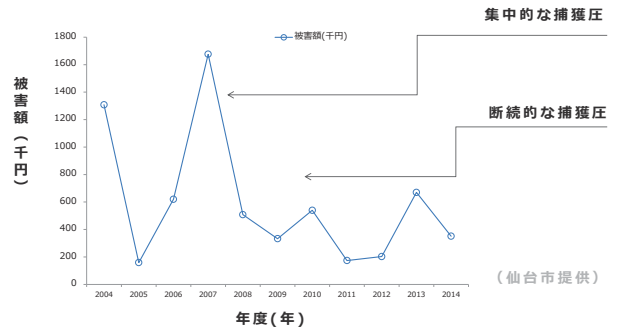
### 仙台・川崎ポピュレーション（加害群4群+α）



## どのように管理すべきか？

合同会社 東北野生動物保護管理センター

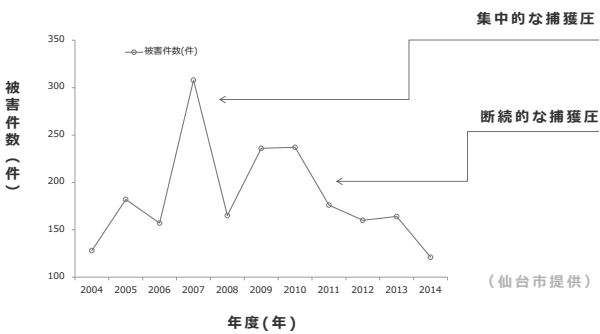
### 仙台・川崎ポピュレーション（仙台市内）



## どのように管理すべきか？

合同会社 東北野生動物保護管理センター

### 仙台・川崎ポピュレーション（仙台市内）



## どのように管理すべきか？

合同会社 東北野生動物保護管理センター

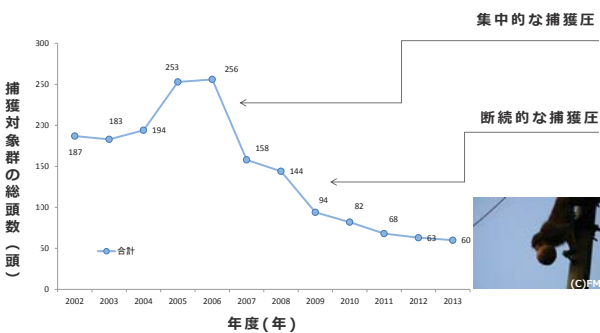
### 仙台・川崎ポピュレーション（加害群）



## モニタリングの必要性

合同会社 東北野生動物保護管理センター

### 仙台・川崎ポピュレーション（加害群4群+α）



## モニタリングの必要性

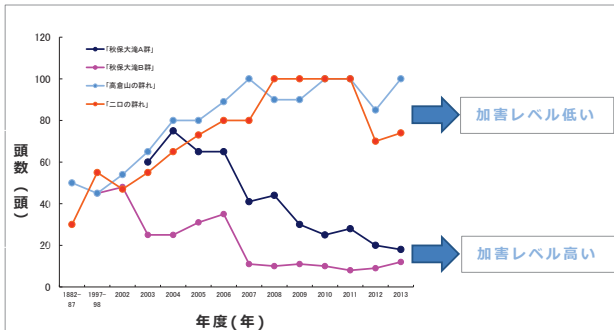
合同会社 東北野生動物保護管理センター

### 仙台・川崎ポピュレーション（ほぼ全ての群れ）

<b>発信機の装着</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●最低2頭/群れ</li> <li>●麻酔銃による捕獲</li> <li>●全群に発信機の装着</li> </ul> <p>群れ特定を行うため</p>	<b>専門員の配置</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●平日の位置取り</li> <li>●被害の把握</li> <li>●遊動域の把握</li> </ul> <p>遊動域や被害の把握</p>
<b>個体数カウント</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●毎年カウント</li> <li>●アカンボウの把握</li> </ul> <p>数の変化を把握するため</p>	<b>その他</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>●定期的な駆除</li> <li>●銃&amp;花火の追い払い</li> <li>●犬を使った追い上げ</li> </ul>

## モニタリングの必要性

人と動物の共生事業  
合同会社 東北野生動物保護管理センター



## まとめ

人と動物の共生事業  
合同会社 東北野生動物保護管理センター

### 安定個体群の規模

- 点ではなく面で考える
- 行政区を越えた、情報交換



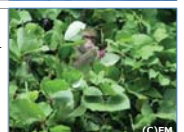
### 個体群管理の理想と現実

- サルは山に、人は里に



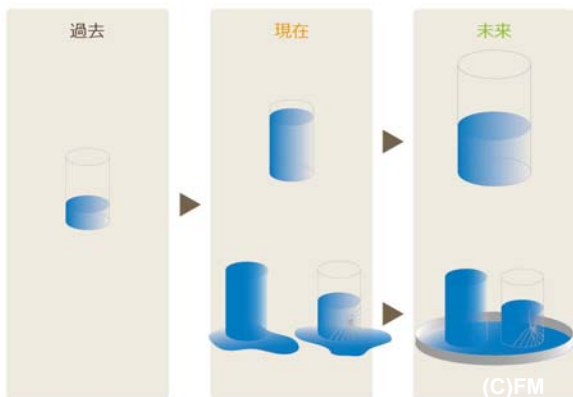
### どのように管理すべきか？

- 計画の策定と実行力、
- モニタリング、群れ管理



## まとめ

人と動物の共生事業  
合同会社 東北野生動物保護管理センター



## おまけ

人と動物の共生事業  
合同会社 東北野生動物保護管理センター

### 50頭の加害群に掛るコスト

項目	存続させる場合	消滅させる場合
捕獲費用(選択的、全頭)	年間50~100万円	500~1,000万円
モニタリング費用	年間50~100万円	10万円
追い払い費用(人件費,車,装備)	年間200万円	0円
被害量	年間10万円	0円
防除対策	年間10万円	0円
トータル	年間320~420万円	1~2年で1000万円

※住民の精神的苦痛、行政の人件費等、分裂した場合などは加味せず、

## ご清聴ありがとうございました

人と動物の共生事業  
合同会社 東北野生動物保護管理センター

